

転造開発支援協議会 概要

1. 設立の背景・動機

転造技術は古くから研究されてきた分野ではあるものの、設備の進化・知見の蓄積に伴って、その加工可能な領域は今尚広がっています。

その一方で、ニッチな分野であるが故に専門家や深い知識を有する技術者は他業種と比較すると少なく、技術革新やその技術情報の共有が進んでいるとは言い難い状況となっています。そこで、当協議会が転造の最新技術や他工法に比したメリット等々を全世界に向けて積極的に発信することに加え、転造技術の最新動向・情報を積極的に集約し、情報ステーションとしての役割を果たしていきます。

これらの活動を通じて、当協議会が我が国における転造の知の集積地（プラットフォーム）となり、会員各社の更なる技術力の向上に資すると共に、各社が世界で互角以上に戦える武器を供給し続けることも可能になります。今般、時代の要請に即した形でこのような場を設けることは、環境負荷軽減を目指す SDGs の世界的なニーズやビジネストrendにも合致するところであり、広く現代社会に貢献できるものと確信しております。

2. 名称

本協議会は『転造開発支援協議会』と称します（英語表記は『The Conference of Rolling Development』）。

3. 会員資格

全発起人の承認が得られた企業・個人に会員資格が付与されます。

※協議会の発展に資する設備メーカーや大学関係者等の専門家を賛助会員として迎えます（賛助会員は費用負担なし）。

4. 活動内容

- ・転造工法の PR
- ・転造に関する最新技術の情報収集、交換、発信
- ・新製品、新工法の開発等の共同プロジェクトの推進
- ・会員間の転造加工業務受発注支援
- ・会員の BCP 支援
- ・海外に向けての情報発信
- ・会員間の親睦、交流、相互扶助
- ・その他発起人により定める事項